

主なアンケート調査結果

令和2年度に実施したアンケート調査の主な調査結果です。（文中で、前回調査としているのは、平成29年度に実施したアンケート調査を指しています。）

① 市民の人権意識は「高くなっている」との評価が多い

- 今の日本は基本的人権が尊重されていると思うと答えた人が多く見られましたが、前回調査時とほぼ変わらない結果です。
- 市民の人権意識については、「高くなっている」と答えた人が多く見られましたが、こちらも前回調査時とほぼ変わらない結果です。今回の計画では、さらなる人権意識の高揚を図る必要があります。

図 基本的人権が尊重されているか

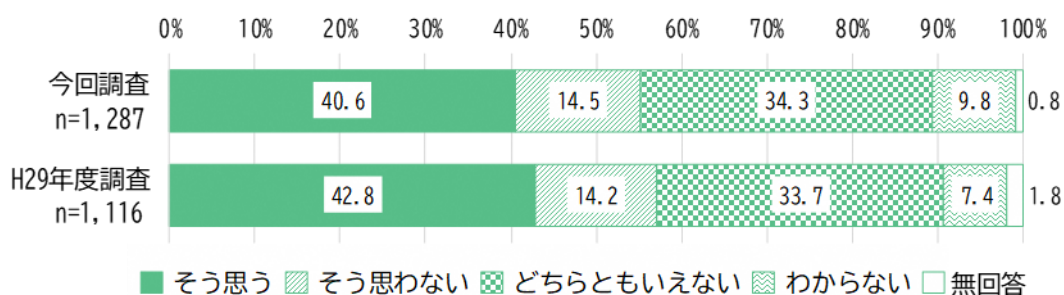
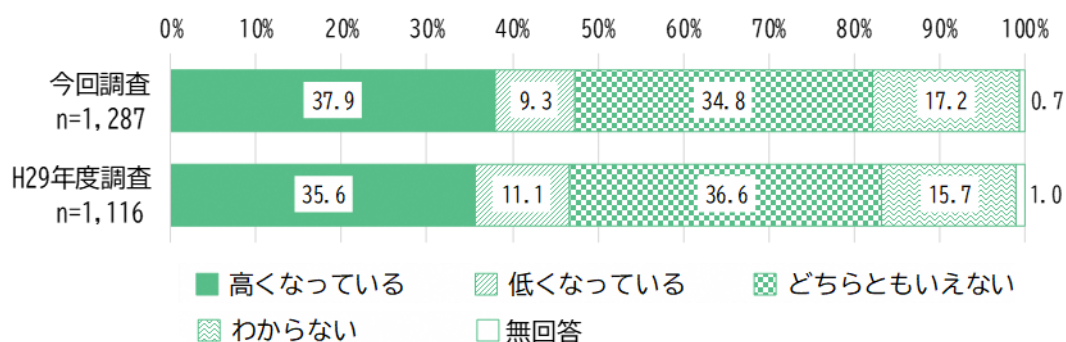


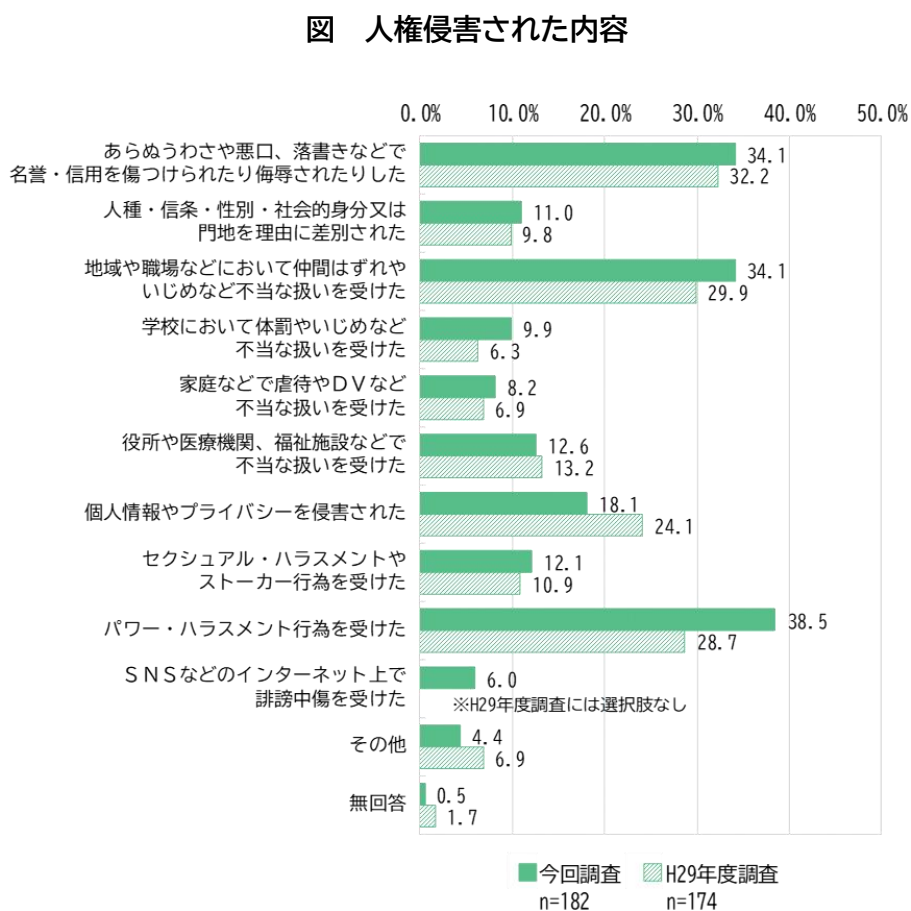
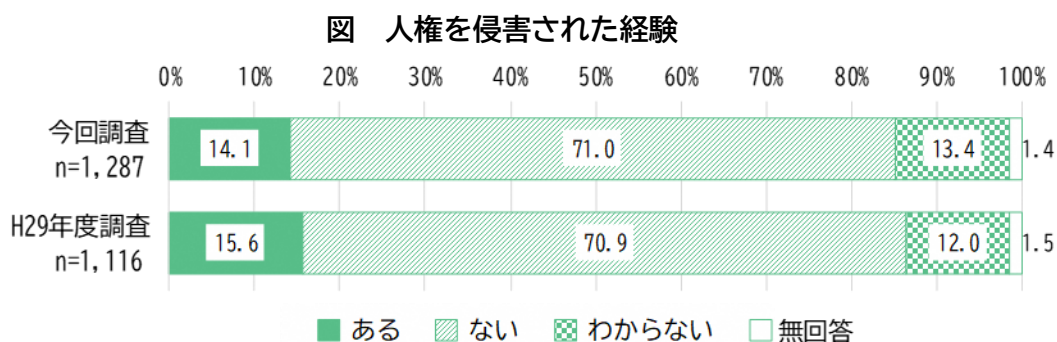
図 市民の人権意識の変化



資料：豊川市人権に関する市民意識調査（令和2年度）

② 人権侵害の内容：パワーハラスメントが増加

- 人権を侵害された経験がある人の割合は、前回調査時とほぼ変わりません。
- 人権侵害の内容としては「パワーハラスメント行為」が多くみられ、前回調査と比較しても増加していることがわかります。反対に、「個人情報やプライバシーの侵害」については前回よりも減少しています。パワーハラスメントは、職場などの組織の中で発生する人権侵害です。企業や職場における人権教育・啓発を強化し、問題の未然防止が必要です。

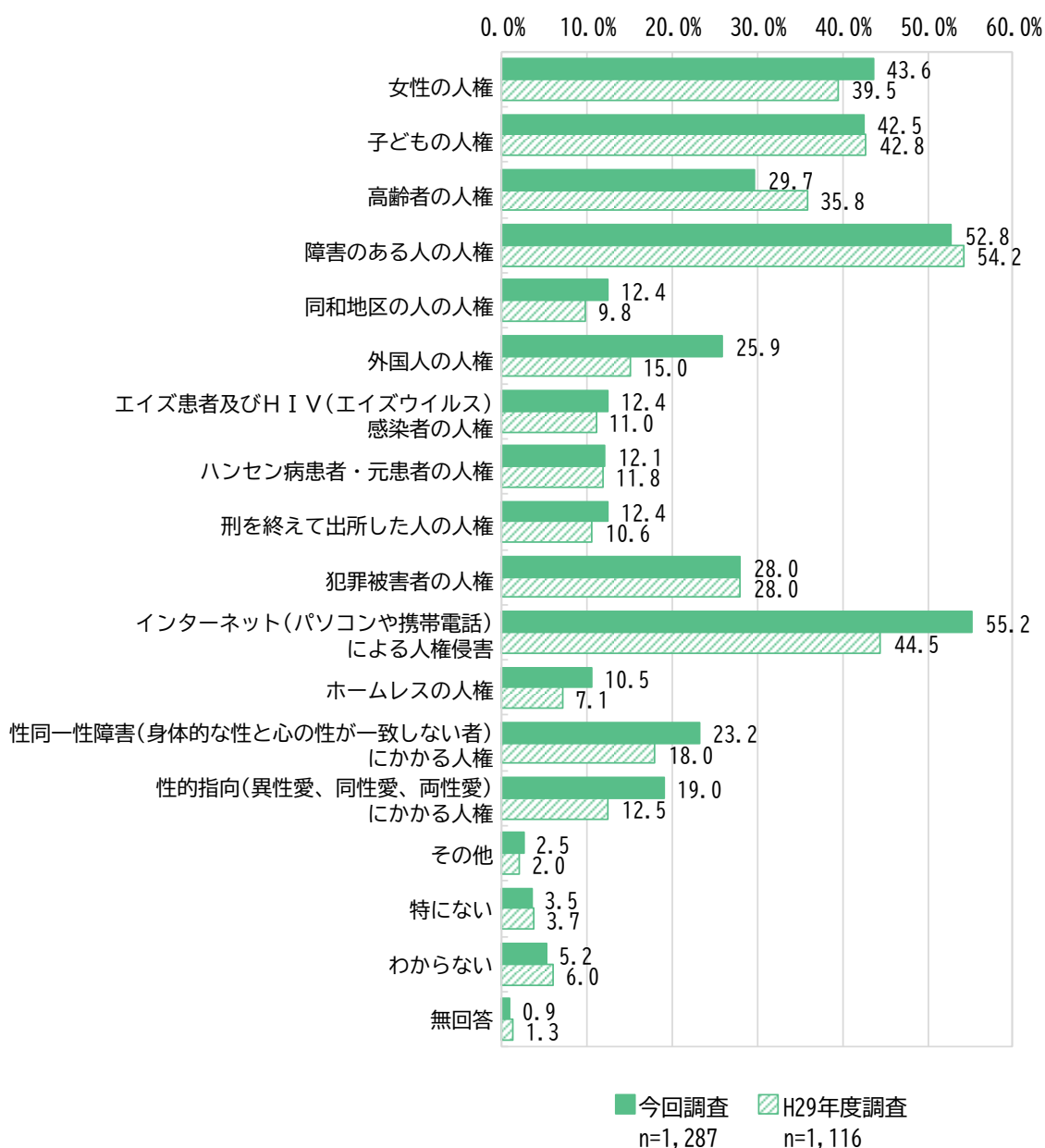


資料：豊川市人権に関する市民意識調査（令和2年度）

③ 人権問題への関心：インターネットによる人権への関心大

- 重要だと思う人権問題としては、「インターネットによる人権侵害」が多く、前回調査時よりも関心が高まっています。その他では、「障害のある人の人権」や「女性の人権」などへの関心が多くみられます。
- 「外国人の人権」、「性同一性障害にかかる人権」、「性的指向にかかる人権」などは、前回調査時よりも関心が高まっています。関心が高まっている課題については、特に啓発を充実する必要があると考えられます。

図 重要だと思う人権問題

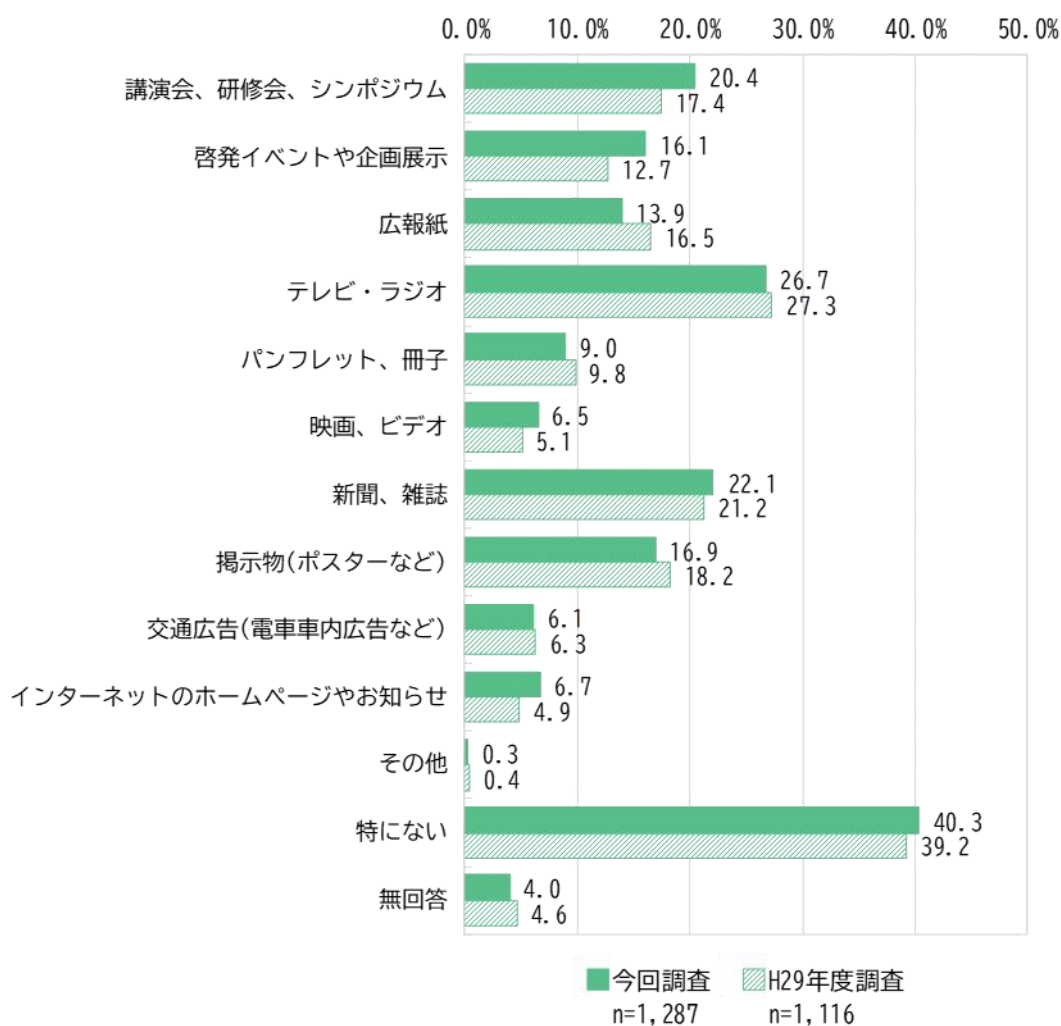


資料：豊川市人権に関する市民意識調査（令和2年度）

④ 人権啓発等に参加していない人が4割

- 人権啓発活動に参加したり、見聞きしたりしたものが「特にない」人が多く見られます。こうした人々に、人権に関する知識や情報が届くよう、啓発の手段等を検討する必要があります。

図 人権啓発等に触れた経験



資料：豊川市人権に関する市民意識調査（令和2年度）